いまさらだけど

多文化共生

ってなに？

愛知教育大学　外国人児童生徒支援リソースルーム

目　次

多文化共生って何だろう …… 2

冊子の注目ポイントと活用方法 …… 3

座談会を開催しました …… 5

２つの文化の中で …… 8

登場人物紹介 …… 11

１.リサイクル

漫画 …… 12

学校で勉強する「ごみ問題」 …… 15

リサイクル　こんな話も… …… 20

クイズ …… 21

２.災害・防災

漫画 …… 22

学校で勉強する「災害・防災」 …… 26

災害・防災　こんな話も… …… 31

３.食料

漫画 …… 33

学校で勉強する「食料」 …… 36

食料　こんな話も… …… 38

クイズ答え …… 40

参考文献・URL …… 41

多文化共生って何だろう

この本を作るにあたり、私たちは「多文化共生」というものを改めて考えてみました。「多文化共生」は「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと」（総務省：多文化共生の推進に関する研究会報告書より）とされています。

近頃、当たり前のようにこの「多文化共生」という言葉が使われるようになりましたが、「多文化共生」という言葉の後ろには、「社会に向けて」や「社会を目指して」、「社会を築くために」「を進めるために」「に向けてのアプローチ」のような言葉が続くことが多いと思います。こうしたことからも日本社会においては、まだ「多文化共生」が実現されておらず、「多文化共生」を大切なことであると捉えていて、実現に向けて努力をしているという状態であると想像できます。

「多文化共生」は、多くの市町村において、外国人住民の増加への対応という意味で取り組まれているケースが多いようです。これらの「多文化共生」への取り組みとしては、ホームページの外国語ページ設置から地域の情報提供、外国人への相談体制の整備、外国語版マニュアルによる防災知識の提供、日本語教室の開催などが多くみられます。これらは言語の多言語化や通訳といった、言葉に関するものです。日本人住民に向けた「多文化共生」の取り組みとしては、外国人と共に参加するイベントの開催や、やさしい日本語を使って外国人住民と話すことを目指す「やさしい日本語講座」などがあります。これらのチラシにも「多文化共生」という言葉が使われていることが多いのではないでしょうか。このようなことからも、外国人の増加が「多文化共生」という言葉の誕生に大きな影響を与えていることが想像できます。しかし、私たちは、「多文化共生」という言葉が日本人と外国人の共生に限って使われていることに疑問を感じました。「地域社会の構成員」として考えるなら、同じ地域で生活する人たちとして、日本人と外国人という視点だけでなく、年代差等にも目を向けるべきだと考えました。そして、これらを客観的に見る視点として、この本では「宇宙人」まで登場します。

皆さんもこの本を使って、「多文化共生」を改めて考えてみませんか。

冊子の注目ポイントと活用方法

01 座談会を開催しました

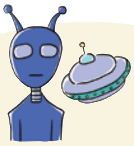
　国籍や年齢、職業が違う人たちから様々な意見が出ました。これを読んで、あなたはどう思いますか。

02 2つの文化の中で

　日本生まれ、ブラジル育ちの丸井合さんから見た２つの文化についてのお話です。
　「○○人」って何でしょうか。

03 漫画

　様々な人たちが登場します。
　あなたがこの団地の住人だったらどう感じますか。この団地の住人になったつもりで読んでみてください。



04 宇宙人！？

　宇宙人が「たぶんかきょうせい」を探りにやって来ます。地球の外から見ると、私たちの文化や生活はどう映るのでしょうか。

05 学校で勉強すること

　現在の小学校での学習内容が書かれています。これらはみなさんが学校で学んだ内容と同じですか？もしかしたらあなたが、学校で勉強していないことが書かれているかもしれませんね。

06 こんな話も…

　トピックに関連する＋αの内容が書かれています。クイズもあります！あなたはどのくらい知っていますか。

冊子の活用方法アイデア

- **交流の場で：**年齢や国籍問わず集まって冊子を読み、感想を話したりそれぞれの文化について質問し合ったりすると、お互いを知ることができる場になるでしょう。冊子が地域住民の方々の交流のきっかけになれば幸いです。

- **学校で：**授業で多文化共生について扱う際には、ぜひ冊子を教材として取り入れてみてください。児童生徒への配布用に漫画部分のみの小冊子も用意しています。冊子の中の漫画部分では、文化の違いによる視点を知ることができるでしょう。また、宇宙人のセリフにも注目してみるとまた違った視点を知ることができます。宇宙人のセリフを自分たちで考えてみてもおもしろいですね。

- **家庭で：**冊子を家族と一緒に読み、それぞれのトピックについて、自分の文化や子どもの頃の話をしてみてはいかがでしょうか。また、子どもに学校で学んでいることを聞いてみるのもいいでしょう。知っていることや感じていることをお互いに話すことで、同じ家族内でも新たな発見があるかもしれません。

座談会を開催しました

2021年6月26日にオンラインによる座談会を開催しました。外国人住民（ブラジル、フィリピン、ベトナム）や日本人住民、合計11人が参加しました。行政で国際交流活動に関わることの多い市の職員の方にもご参加いただきました。愛知教育大学の学生も参加しました。

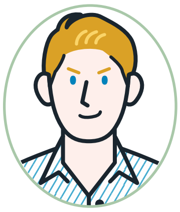
地域社会の中で共に生きていく一員として、互いにどのような気持ちでいるのかを知り、色々な立場の人同士、共生に必要な歩み寄りについて考えるきっかけづくりを目的としました。

最初に外国人住民が日本での生活で驚いたことを話してもらいました。また、日本人が海外に行って驚いたことも話してもらうなど、外国人、日本人双方向の視点を意識しながら進めました。

最初は互いにルールの違いへの戸惑いや、外国人住民の方は日本の良さについて話をしてくれることが多かったのですが、話を進めていく中で、日本が外国人住民をどのように受け入れようとしているのかを見つめ直すきっかけとなるような発言も出てきました。

座談会の様子を一部紹介させていただきます。

マナーがいい国、ニッポン？



日本人は電車に乗るとき、ちゃんと並んでいる。出る人が先に降りてから、そのあと乗る。外国人は違う。入って、出てというぐちゃぐちゃな感じ。

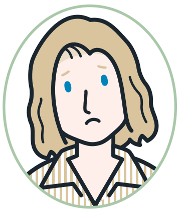
ブラジルで電車に乗ったとき、ブラジルの人たちは私たちが降りるのを待ってから入ってきたけれど、日本に帰ってきて電車に乗ったとき、私たちが降りる前にどんどん人が入ってくるのを見て、「え？日本ってこんなふうだったの？」と、同じ日本人に対して驚いた。

外国人からみるとやはり日本はマナーがいい国、日本人はマナーがいいと思われているようです。だからと言って、外国は電車内のマナーが悪いということではありません。日本人も日本はマナーがいい国だと思っていたはずなのに、そうではない日本人を見て驚いてしまうこともあったようです。

同じように困っていることも

子どもを保育園になかなか預けることができない。何回も申請して、全部落ちている。すごく困っている。

日本は高齢化で子どもを産むようにすごい勧められて、妊娠して産むときには補助金が出たりするけど、産まれてから保育園に入れないのは、ちょっとつらい。



日本社会の問題を的確に指摘する発言には、日本人、外国人共に共感しかありませんでした。国によっては、両親が働いているか、働いていないかは関係なく、保育園に預けたい人は申し込んだ人から順番に入れるようになっているという話もありました。日本で働く人にとって、日本人、外国人に関係なく子どもを保育園に預けられないというのは、日本で生活をしていく中で大きな問題であることに間違いありません。

深刻なアパート契約問題

一番困るのは家を借りること。いくらお金があっても、日本人の保証人とか、いい仕事、いい会社に入らないと、なかなか借りられない。そこが一番、外国人が日本で困っていることだと思う。

家を借りるときに信じてくれない。だんなさんが日本人じゃないと借りるのが難しい。会社の関係やそこの会社の寮に入るしかない。日本で一人暮らししたいと思っても、自分一人ではアパートを借りられない。

アパートの中には外国人禁止のところもあれば、外国人だけ入っているというところもあるようです。場合によっては人権問題にもなってしまいますが、外国人というだけで信用してもらえないという声もありました。日本社会の中で日本人、外国人という枠を超えた信頼関係をどうやって築いていくのか、考えていく必要があるようです。

座談会を終えて

　座談会の終わりごろ、ある一人の日本人の参加者がこのように発言していました。

日本が好きで来た人と多く関わっているから、日本のいいところとか、日本と自分の国を比べて、「日本はこういうのがすごいよね」という話は聞くけれど、生活の中で困っていることを聞けたのはすごく大きかった。

　もしかしたら、日本人が多文化共生を思い描くとき、日本を好きでいてくれる外国人や、日本社会を理解してなじもうとしてくれる外国人がイメージされていることが多いのではないかと感じました。
　しかし、実際には日本社会に戸惑いや疑問を感じている外国人住民も多くいます。日本社会の在り方を一方的に受け入れてもらうだけではなく、そういった外国人住民の戸惑いや疑問に耳を傾けながら互いに歩み寄っていくことが大切ではないでしょうか。
　多文化共生を目指すためには、いろんな立場の地域住民が互いの違いや共通点に目を向け、理解し、受け入れたり、疑問を共有したり、意見を交換する過程がとても大切であるということに気付くことのできた、有意義な座談会となりました。

2つの文化の中で

丸　井　　　合

　私は２歳のとき、家族とブラジルに移住しました。私たちが暮らしていた街はドイツ人の移民が多く、日系人はほとんどいませんでした。そのため、見た目から「ジャポネーザ（日本人）」と呼ばれました。ブラジルでは、「Ai」は感動詞で、主に痛いときに使われるため、私は「Ai, Ai（痛い、痛い）」と言われ、学校ではよくからかわれました。しかし、あるとき、「『あい』は日本で愛（Love）っていう意味だよね。素敵な名前ね。」とブラジル人女性に言われ、とても嬉しかったのを覚えています。本当は、私の名前の漢字は「愛」ではなく「合」なのですが、そのときはその人に説明をしませんでした。とにかく、自分の名前を褒められたのが、とても嬉しかったのです。私の名前の「合」は「上の二人の兄姉と仲良くしてほしい」という願いを込めて、祖母が付けてくれたものでした。ちなみに、日本では、「藍」「相」「哀」の漢字も「あい」と読みます。それぞれの漢字の意味も、相手に伝わるイメージも違うので、日本語は素敵だと思います。

　私はブラジルで大学を卒業後、１年間日本に留学に来て、その後、ブラジルで就職し、縁があって日本で仕事をすることになりました。そのとき知り合った夫と結婚し、子どもが２人生まれました。今では、ブラジルで暮らした20年より、日本での生活が長くなりました。私はブラジルの家族の中では「娘」であり、日本に来て、日本の家族の中では「妻」となり、「母親」となりました。日本の家族と同じくらい、ブラジルにいる両親や兄弟姉妹などの家族も自分にとっては大切なものです。

　日本は「和」を大切にしているという印象が持たれています。日本と違って、ブラジルは個人主義と言われています。しかし、実はブラジルでは「家族」という繋がりをとても大切にし、仕事が終わったら、残業せず家族との時間を大切にする人が多いです。クリスマスや日曜日、多くのブラジル人が家族（祖父や祖母、姉妹兄弟とその家族）全員と過ごすことが多いです。日本人、特に男性は、そうしたくても、仕事を優先してしまう人が多いと思います。でも、日本人が家族と過ごす時間が少ないからといって、家族愛が深くないということではないと思います。例えば年末年始渋滞など大変な思いをして帰省し、お正月は家族に会いに行く人が多いですね。私が言いたいことは、ブラジルも日本も家族を大切にする想いは同じ、ただ、表現の仕方が違うのだと思います。ブラジル人は恋人はもちろん、「家族愛」も強く表現します。愛情表現については、日本人はまだまだシャイな人が多いですし、愛情をあまり言葉にしないだけだと思います。

　私は33時間かけてブラジルに行き、両親の顔を見るだけでホッとします。でも、ブラジルで過ごすうちに、ブラジルの交通マナーを怖く感じたり、出かけたときに道などが汚いことや働く人がのんびりすぎるのが気になったりしてきます。そして、数日経つと、便利で清潔な日本が懐かしくなってし

まうのです。母国を離れて違う国で暮らす人の多くは、その国の文化、習慣などに慣れていきます。私も日本での生活が長くなるにつれて、徐々にブラジルの文化や習慣から遠ざかっている気がします。例えば、ブラジルで会話中にお辞儀をしたり、家に入るときに靴を脱いでしまったりということです。

ブラジルと日本で生活をする中で、自分の使う言葉、周りの人が使う言葉を意識的に観察するようにもなりました。そして、そこにそれぞれの文化があることに気が付きました。自分の言葉を大切にすると同時に、他の人の言葉も大切にしなければならないということにも気付きました。

私は、私のように故郷を離れて日本で暮らしている人に故郷の文化も大切にしてほしいと思います。もちろん、日本語を勉強して、日本人と交流して、たくさんの日本語に触れることは大切です。しかし、日本で子どもを育てているブラジル人に、子どもとポルトガル語で話すことをやめないでほしいと思います。親の言語を伝えることは、その言語だけではなく、文化、考え方や行動、それに何より親の言葉で気持ちを伝えることにつながるので、とても大切なことです。ポルトガル語でも母語（língua materna）という言葉と継承語（língua de herança）という言葉があります。親の言語を継承語として遺してほしいと思います。

日本人も地域で暮らす外国人の文化の存在を知り、世界中に、そして日本の中にもいくつもの言語や文化が存在することに目を向けると、改めて日本の言語や文化を考えることができる良い機会になると思います。この体験は視野を広げ、異文化理解を深め、これからの多文化社会で活躍していく子どもたちのためにも「herança遺産」になると思います。

日系人の多くは、ブラジルでは「日本人」、日本では「ブラジル人」と言われます。私は、自分のルーツを抱えながら、新しい文化の中で生き、知っていくことで日本人も外国人も同じ人間としてお互いを見ることの大切さを思い知りました。2つの文化の中で生きるのは簡単なことではありませんが、私は自分の中にあるブラジルの文化も、日本の文化も、どちらもずっと大切にしていきたいです。そしてブラジル人にも日本人にもそれを受け入れてほしいと思います。

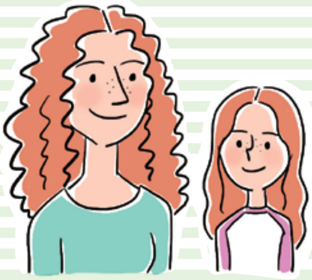
1 リサイクル

2 災害・防災

3 食料

登場人物紹介

5年前にブラジルからやってきた親子

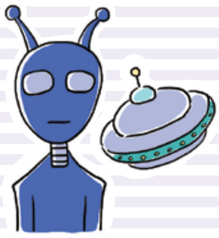


モニカ

楽天的な
明るい性格
細かい決め事が
苦手な32歳

マリア

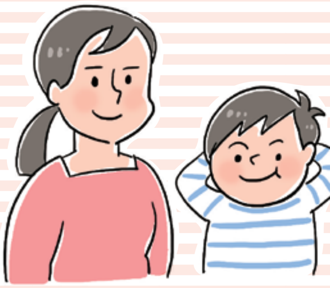
小学5年生
外国人に対する
偏見に気付いている
繊細な性格



宇宙人X

地球人の行動や
思考を観察しに
やってきた
謎の宇宙人

日本に住んで15年フィリピン人の親子



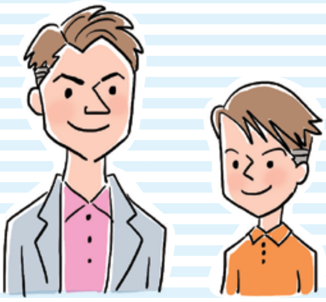
メアリー

日本の習慣や文化を
リスペクトしている
まじめな性格の33歳

ジョン

日本生まれ
小学4年生
元気な食いしん坊

1年前にベトナムからやってきた親子

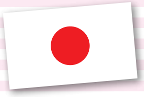


アン

洞察力は高いが
心配性な34歳
礼儀正しい

ナム

小学4年生
好奇心旺盛で
ひょうきんな性格



ゆきこ

仕事の都合で
引っ越しが多い
気さくな31歳

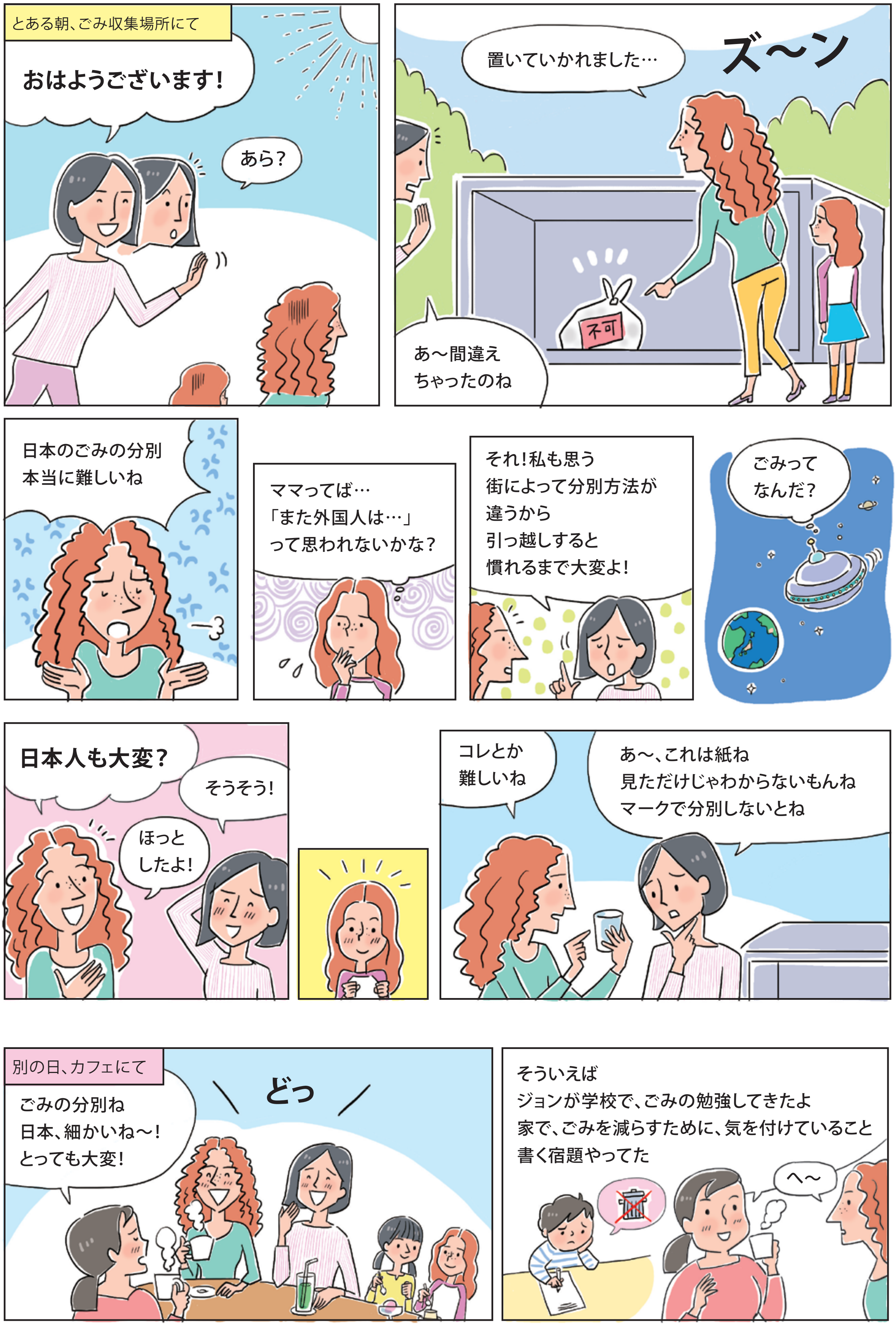
なつみ

小学5年生
正義感の強い
優等生

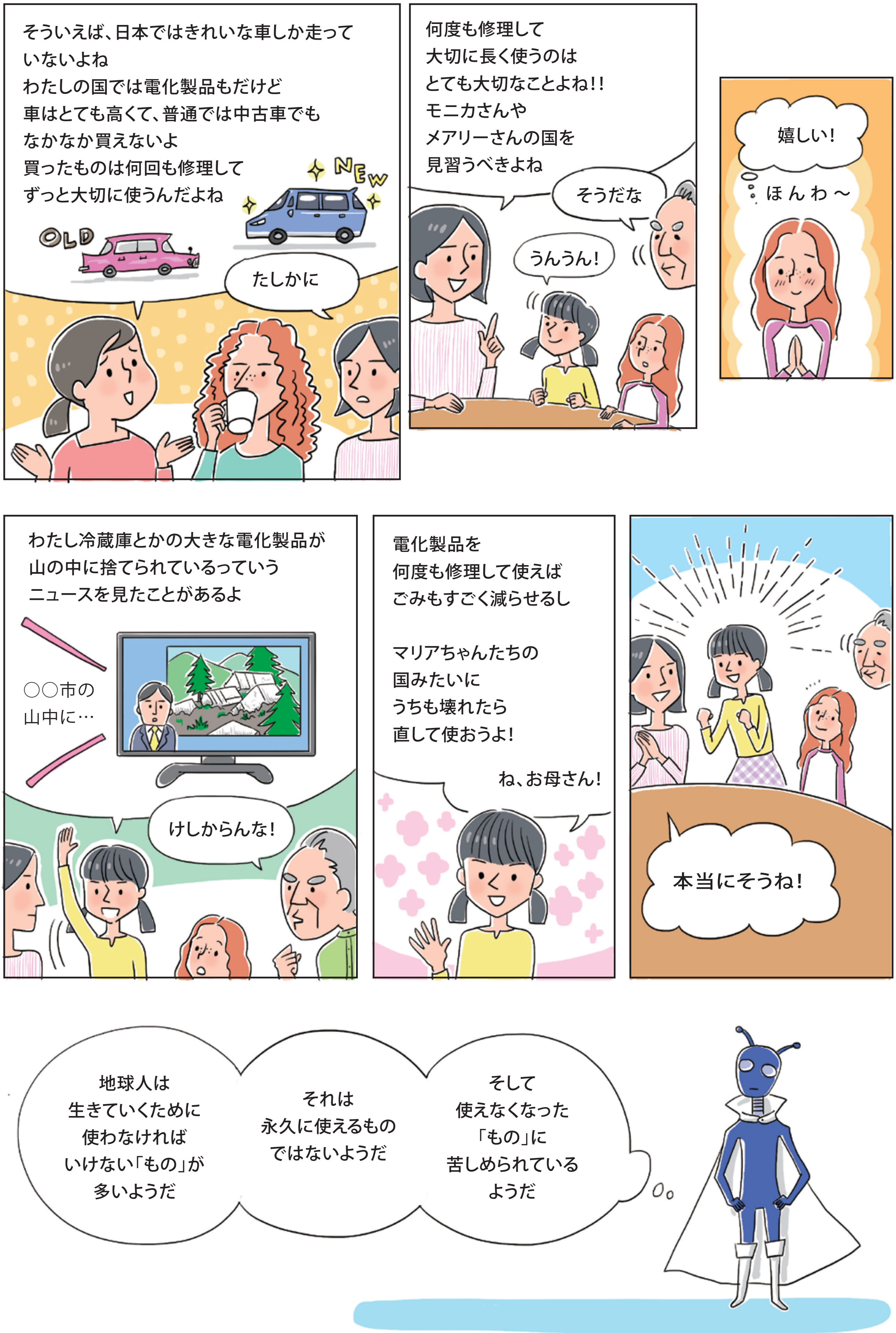
共生（ともお）（愛称／ともさん）

妻と犬と暮らす65歳
多文化共生に興味がある
外国人住民とも気さくに
接するので何かと頼られがち
面倒見がよく地域の
イベントにも関わる

漫画
リサイクル


とある朝、ごみ収集場所にて
おはようございます!
あら?
置いていかれました…
ズ〜ン
不可
あ〜間違え
ちゃったのね
日本のごみの分別
本当に難しいね
ママってば…
「また外国人は…」
って思われないかな?
それ!私も思う
街によって分別方法が
違うから
引っ越しすると
慣れるまで大変よ!
ごみって
なんだ?
日本人も大変?
そうそう!
ほっと
したよ!
コレとか
難しいね
あ〜、これは紙ね
見ただけじゃわからないもんね
マークで分別しないとね
別の日、カフェにて
ごみの分別ね
日本、細かいね〜!
とっても大変!
どっ
そういえば
ジョンが学校で、ごみの勉強してきたよ
家で、ごみを減らすために、気を付けていること
書く宿題やってた
へ〜

なつみもリサイクルの
勉強して、ペットボトルの
キャップを集めてるわよ
ペットボトルの蓋は、プラスチックのリサイクル資源に!
※リサイクルの過程で収益の一部が、世界の
こどものためのワクチン購入用に寄付される
ワクチン
アルミ缶は、またアルミ缶にリサイクルされるのよ!
※リサイクル業者へ売り、得たお金は
学校で必要なものを買うよ
リサイクル会社
NEW
学校で回収
でも不思議だな～
日本って電化製品が壊れたら
すぐに買い替えちゃうのに
どうしてリサイクルリサイクルって
いうのかな?
え?
炊飯器が壊れたから
修理頼みたかったけど、
とっても高くてびっくり!
見積もりを出すだけでも
お金がかかるって
そして結局、買い替えを
勧められたよ!
私の国では
電化製品は
とても高価
みんな修理して
使うから
修理のお店がたくさんあるよ
でも
日本では見かけないね
リペア
そういえばそうね
ある程度使って、保証期間が
過ぎてるとデザインや性能を見て
便利なら買い替えちゃうわね～
「省エネです!」とかに
弱いわ!
買い替えると
古いのを引き取って
くれる場合もあるし
昔は日本でも修理して
使っていたんだがなぁ…
ともさん
いたんだ!
日本は保証期間が過ぎていると
修理にたくさんお金がかかるから
「買い替えたほうがお得です」って
言われる
修理すればまだ
使えるかもしれないのに
…


そういえば、日本ではきれいな車しか走って
いないよね
わたしの国では電化製品もだけど
車はとても高くて、普通では中古車でも
なかなか買えないよ
買ったものは何回も修理して
ずっと大切に使うんだよね
OLD
NEW
たしかに
何度も修理して
大切に長く使うのは
とても大切なことよね!!
モニカさんや
メアリーさんの国を
見習うべきよね
そうだな
うんうん!
嬉しい!
ほ ん わ ～
わたし冷蔵庫とかの大きな電化製品が
山の中に捨てられているっていう
ニュースを見たことがあるよ
○○市の
山中に…
けしからんな!
電化製品を
何度も修理して使えば
ごみもすごく減らせるし
マリアちゃんたちの
国みたいに
うちも壊れたら
直して使おうよ!
ね、お母さん!
本当にそうね!
地球人は
生きていくために
使わなければ
いけない「もの」が
多いようだ
それは
永久に使えるもの
ではないようだ
そして
使えなくなった
「もの」に
苦しめられている
ようだ

学校で勉強する「ごみ問題」

- ごみの分別からごみ置き場へ
- ごみのゆくえ
- 生まれ変わるごみ
- ごみ処理が抱える問題と自分ができること

ごみの分別からごみ置き場へ

日本の学校では、家庭でごみをどのように分別していて、分別されたごみの量が種類ごとに違っていることに子どもたちが気付くところから勉強が始まります。そして、家庭から出されたごみが、種類ごとに収集されて、ごみの処理方法がそれぞれ違うことを学びます。

学校の宿題で、家にどんな種類のごみが多いか調べたら、食品が入っていたプラスチックトレイやペットボトルが多かったよ。同じクラスの子たちもそういう子が多かったよ。

ペットボトルとプラスチックトレイは、別のごみ箱を準備してためるようにしているけれど、すぐにいっぱいになっちゃうよね。

うちもそう。ペットボトルは、すぐにたまってしまう。

わしが子どものころは、ペットボトルなんてものはなかったし、お茶や水を買うなんてことはなかったな。お茶は家で麦茶を作ってそれを飲んでいたし、今もわしはそうしとる。

私はお茶は飲まないけれど、マリアが好きだから買うのをやめて、今はお茶は作るようにしているよ。

私の住んでいたベトナムの街は、水道から出る水は飲めないから、水は買うものですよ。大きなペットボトルのようなものを配達してもらっています。日本でも同じようなサービスがあるみたいだけど、日本は水道水が飲めるのに、どうしてみんなわざわざみんな水を買うんでしょうか。

私の家は、お茶をペットボトルで買うのをやめて作るようにしたら、ペットボトルのごみが減って、お金も節約になったんだよ。このことを学校で発表したよ。

ほぉー。そんなことをして、学校で発表しているのか。わしら大人よりも子どもの方がごみ問題をきちんと考えているようだな。

ごみのゆくえ

ごみ置き場に分別されて出されたごみの種類によって処理方法が違うことを学びます。清掃工場を見学し、実際の処理過程を学ぶこともあります。ごみを燃やす過程で出る熱の再利用や、燃やした後の灰がどのような工夫のもとで処分されているのかを学びます。

この間、クリーンセンターの「親子ごみ教室」に子どもと参加したよ。リサイクルされない「燃えるごみ」は、ごみ収集車で清掃工場まで運ばれて燃やされているんだよ。でも、その燃やしたときに出る熱とかがちゃんと利用されているって！

その燃やすときの熱を利用した市民プールで、わしは冬でも週２で水中ウォーキングをしているぞ。

ごみ焼却後の灰はコンクリートの材料になったり、埋立処分場で埋められるって学校で習ったよ。

私の国では、ごみはまだほとんどリサイクルされないから、ごみ埋め立て処理場がいっぱいになって、空き地に放置されることもあるよ。危険ごみもたくさんあって、臭いが問題になってる。

生まれ変わるごみ

ペットボトルなどのごみが様々なものに生まれ変わり、それがごみの削減につながることを知ります。

これ（ ）、何でできていると思う？

私知ってる！！！

答えを言っちゃだめだぞ。

コットンじゃないの？

ペットボトルだよ！

ペットボトルじゃと？？？！！！　ペットボトルで服ができるのか！

私もそれ、子どもから聞いてびっくりした。私たち外国人だけでなく、日本人も知らない人いるんだね。

私が小さいときは、そんなにリサイクルって言われてなかったから、子どもが学校で勉強して、こんなものにリサイクルされるよって教えてくれると、なんか分別するのもめんどうじゃなくなるよね。少しだけ…。

ごみ処理が抱える問題と自分ができること

ごみ処理の仕方が時代で変化し、現在どのような問題があるのかを知り、家庭や学校、お店、地域での取り組みについて学びます。そして、それぞれがごみを減らすためにできることを自ら考えます。

壊れたテレビを処分しようとしたら、3,000円必要だって！！！

今は、テレビや冷蔵庫を捨てるのにはお金がかかるよね。

昔は普通にごみで出したりできたけどなあ。燃えるごみもわしが子どものときは家でも燃やしていたぞ。

それ、今はやっちゃいけないんだよ。

粗大ごみを勝手に山とかに捨てる人がいて問題になってるって！！！

自分で処分するにはお金が必要だから、不法投棄してしまう人がいるんだよね。ごみの分別はこういう問題も生まれるね。

ごみを捨てるのにお金がかかるなんて、私の国の人はきっと受け入れられないだろうな。

みんながごみをたくさん出して、処分できなくなると町がごみだらけになっちゃうんだよ。

だから、みんなで協力する必要があるよね。スーパーの回収ボックスにプラスチックトレイを持っていったり、エコバッグを使うようにしたり。

学校でも落ち葉を捨てないで、たい肥を作って、花を育てているよ。

うちの団地でも廃品回収をしているぞ。

学校でごみを減らすために自分でできることを考えて発表したよ。

そうそう、おれは漢字の練習をするときは裏紙を使って、使った裏紙は古紙の回収日に出すって発表した。

私は、ペンとかは、インクを替えられるものを使うようにするって発表した。

私も、詰め替えができる洗剤とかシャンプーを買うようにしよう。子ども達がこんなにも考えているのに大人が何もしないのはよくないね。

わしは、テレビや電化製品を何十年も大切に使うようにするぞ。新商品は我慢するぞ。

リサイクル こんな話も…

みなさんは、電化製品の調子が悪くなったときにどうしますか。保証期間であれば無料で修理してもらえますね。けれど、保証期間が過ぎてしまうと、修理にお金がたくさんかかってしまうこともありますね。下の写真は、ブラジル(左)とベトナム(右)の様々な電化製品を修理してくれるお店です。このようなお店がブラジルやベトナムではたくさんあるそうです。電化製品はとても高いので、壊れたらこのようなお店を利用する人が多いそうです。このようなお店を多くの人が利用することは、ごみを減らすことにつながりますね。

ブラジルの電化製品修理店

ベトナムの電化製品修理店

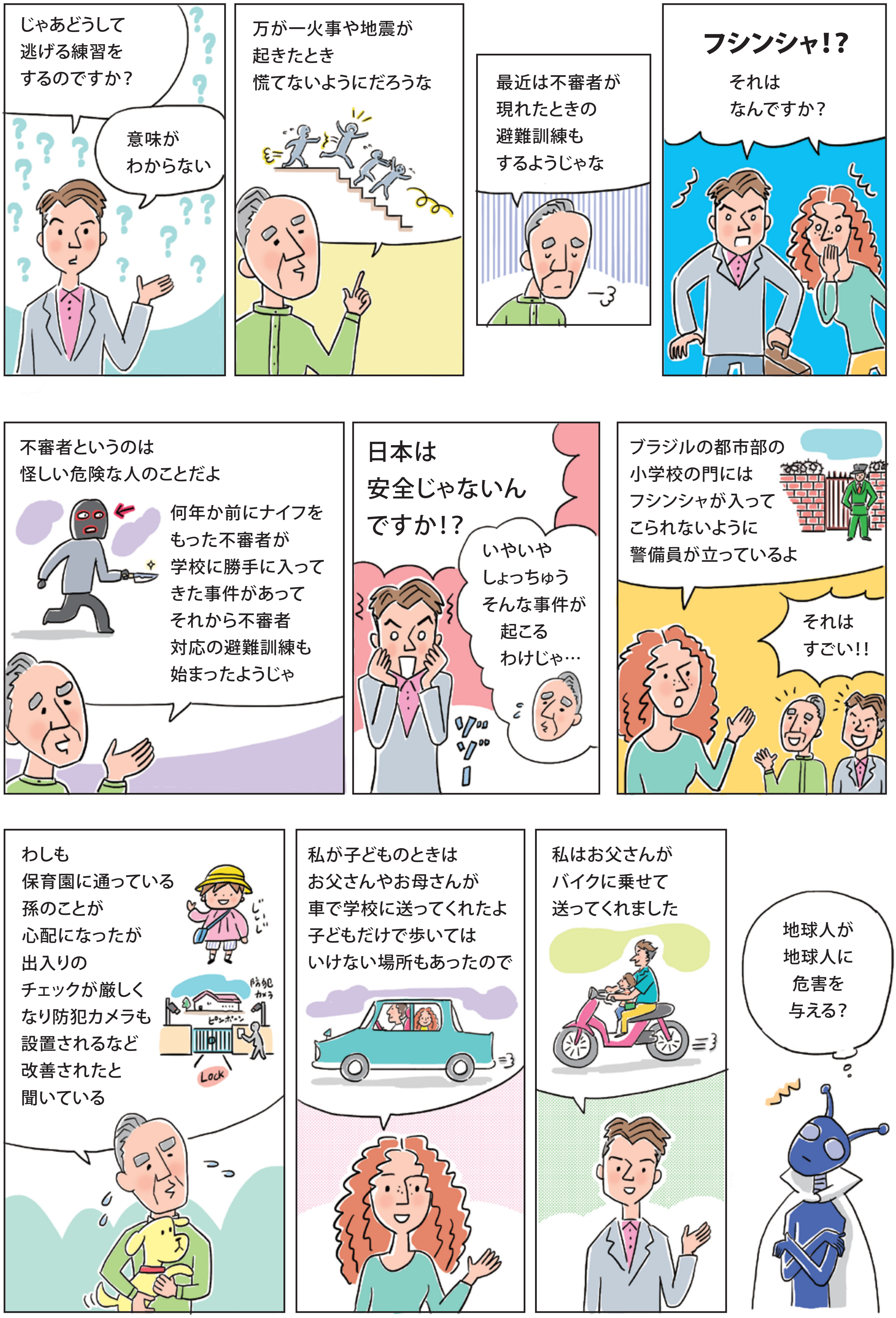
QUIZ クイズ

これはブラジルの写真です。道の横にかごのようなものがあります。
これは何でしょう。

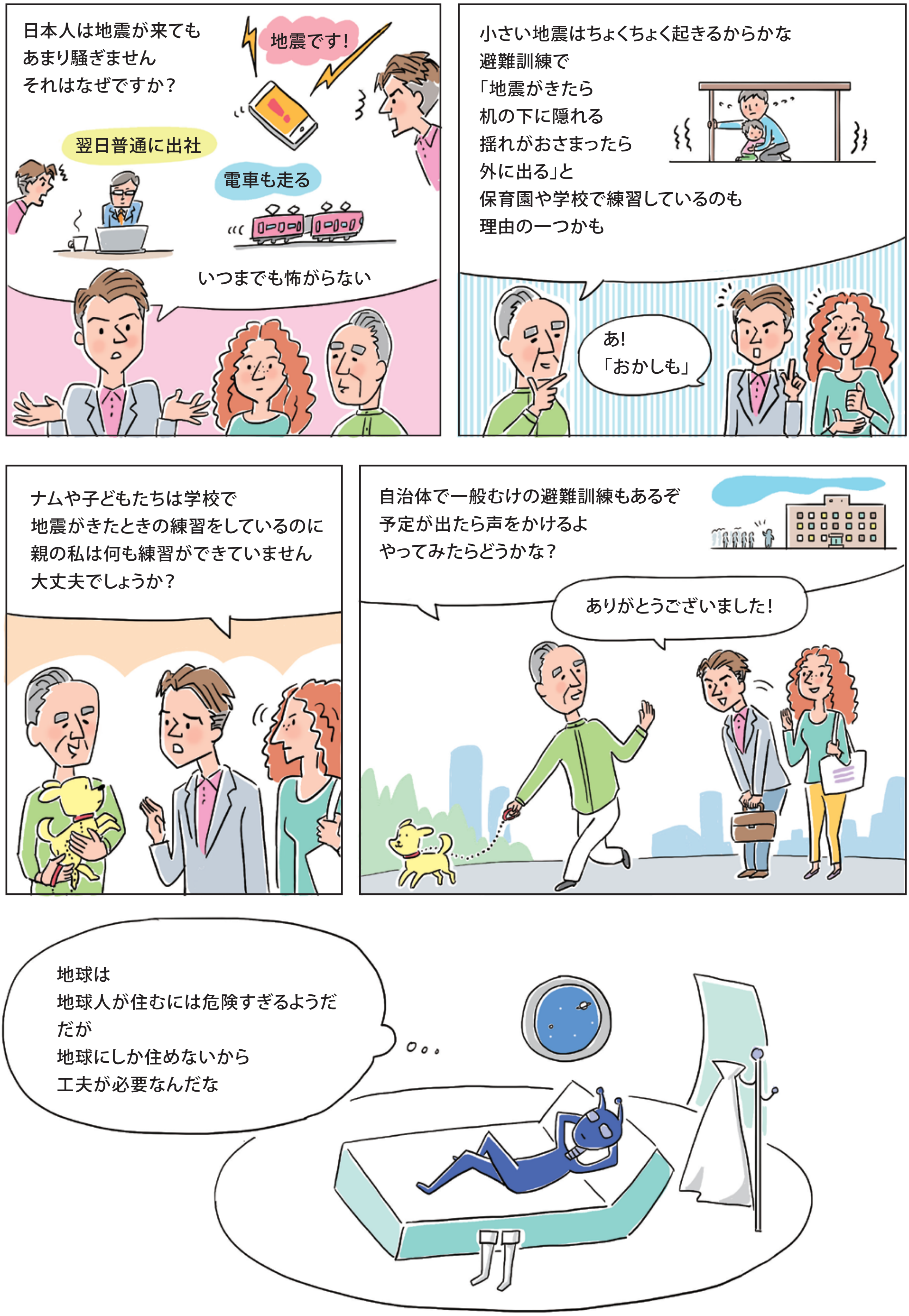
【答えは40ページ】

漫画
災害・防災

ある日の夕方
おかえり〜
おとうさん
「おかしも」って
な〜んだ？
スイーツのことですね？
ちが〜う！
「お」→おさない
「か」→かけない
（はしらない）
「し」→しゃべらない
「も」→もどらない
だよ！
？
今日学校で
火事になったら逃げる練習をしたんだ
逃げるときの4つの約束だよ
避難訓練て
言うんだよ〜
そうなんだ〜！？
（日本の学校では
火事が多いの？）
ゾ！
？
？
火事？
地球人は火に弱いのか
翌朝
おはよう
ございま〜す！
おはよう
あの〜、日本の学校は
火事が起きるのですか？
昨日息子が…
あ〜
避難
訓練
いやいや
火事が起きることは
ほとんど
ないかな？
ほっ！


じゃあどうして
逃げる練習を
するのですか？
意味が
わからない
万が一火事や地震が
起きたとき
慌てないようにだろうな
最近は不審者が
現れたときの
避難訓練も
するようじゃな
フシンシャ!?
それは
なんですか？
不審者というのは
怪しい危険な人のことだよ
何年か前にナイフを
もった不審者が
学校に勝手に入って
きた事件があって
それから不審者
対応の避難訓練も
始まったようじゃ
日本は
安全じゃないん
ですか!?
いやいや
しょっちゅう
そんな事件が
起こる
わけじゃ…
ブラジルの都市部の
小学校の門には
フシンシャが入って
こられないように
警備員が立っているよ
それは
すごい!!
わしも
保育園に通っている
孫のことが
心配になったが
出入りの
チェックが厳しく
なり防犯カメラも
設置されるなど
改善されたと
聞いている
Lock
私が子どものときは
お父さんやお母さんが
車で学校に送ってくれたよ
子どもだけで歩いては
いけない場所もあったので
私はお父さんが
バイクに乗せて
送ってくれました
地球人が
地球人に
危害を
与える？

ちなみに
地震はいつでもどこでも
起きるからな
地震!!怖いです!
初めて地震を経験したときは
突然家がゆれて
それが地震だと
わかるまで時間がかかりました
え？ 何？
私は怖くて、揺れが
おさまるまで神様に
祈ってたよ!
日本は昔から地震が多い国なのだ
この30年で大きな地震が
２回以上起きた
1995年の
阪神・淡路大震災
2011年の
東日本大震災
ベトナムでニュース見ました
恐ろしいし心配です
また大きな地震が
くるかもしれん
心配じゃないか？
日本では
みんな普通に生活しています
だから
私たちも普通に
生活しています
それに日本の家は
地震に強いと聞きました
全部じゃ
ないがな
え？
ただし、国の対策は進んでおる
地震の揺れに耐えられるか調べて
補強工事をするなど
地震に強い建物が増えてきた
なるほど～
地震…


日本人は地震が来ても
あまり騒ぎません
それはなぜですか？
地震です!
翌日普通に出社
電車も走る
いつまでも怖がらない
小さい地震はちょくちょく起きるからかな
避難訓練で
「地震がきたら
机の下に隠れる
揺れがおさまったら
外に出る」と
保育園や学校で練習しているのも
理由の一つかも
あ!
「おかしも」
ナムや子どもたちは学校で
地震がきたときの練習をしているのに
親の私は何も練習ができていません
大丈夫でしょうか？
自治体で一般むけの避難訓練もあるぞ
予定が出たら声をかけるよ
やってみたらどうかな？
ありがとうございました!
地球は
地球人が住むには危険すぎるようだ
だが
地球にしか住めないから
工夫が必要なんだな

学校で勉強する「災害・防災」

- 地域の安全を守る
- 自然災害から人々を守る
- 自然災害と国土の自然条件

地域の安全を守る

日本の学校では、火事に気が付いたら「119」番、事件や事故に気が付いたら「110」番に電話をすることを学んでいます。

安全に、そして速やかに消火や救助が行えるよう、緊急時には、色々な機関が協力して対応できるような体制が整えられていることを学びます。そして、子ども自身も緊急時に自分がどのように行動するべきか、また、火事を起こさないようにどんなことに気を付けたらいいか、事件や事故に巻き込まれないようにするためにどうすればいいか考えます。

火事や事件のときにかける番号が私の国とは違うんだ。子どものほうが正しい番号知ってるね。

世界中どこの国でも、警察は110番、救急車や消防車は119番だと思ってた。

「110」の番号のことを「ひゃくとうばん」って言うんだって。「ひゃくじゅうばん」じゃないんだね。

ナムくんたちの国に行くときは、その国の警察や救急車の番号を調べておいたほうがいいね。

わしが子どものころは、庭で焚火もしたし、薪を燃やしてお風呂をわかしていたし、大人はいろんなところでたばこをすっていたし、今よりもっと火が身近にあったなぁ。薪を燃やしてお風呂をわかすのは、子どもの仕事だったぞ。

お風呂にお湯を入れるのは、ぼくの担当だよ。ボタン押すだけだけど。

子どもが火を使っても危なくないの！？

オール電化の家も増えてきたし、生まれてから一度も火を見たことがない子どももいるかも…。火の熱さや怖さを知らない子どもには、大人がきちんと伝えていかないとね。

社会の授業では、火事を防ぐためにどうしたらいいかを考えたよ。
他にも、地域の中で暗くて危ない場所とか交通事故が起こりやすい場所を自分たちで調べたよ。

それは頼もしいなぁ。火事や事故が起きたらどうするか、ということだけではなく、防ぐところから学校で学んでいるんじゃな。

自然災害から人々を守る

　自然災害には、「地震災害」「風水害」「火山災害」などがあります。まず、過去に発生した地域の自然災害を知ります。そして、私たちが住んでいる地域全体で災害に対してどのような取り組みがあるのかを勉強します。

　小学校や中学校で行われている避難訓練は、過去に発生したその地域の自然災害に応じて実施されています。

「ちいき」や「ひなんくんれん」って言葉をたまに聞いたり見たりするけど、小学校で勉強してるんだね。どういう意味？

お母さん、避難訓練ってやったことないの？心配！

「ちいき」ってどういう意味か、説明するの難しい…。

避難訓練や防災訓練のときに使う「ちいき」というのは、まぁだいたい小学校ごとのエリアで、近所や歩いて移動できる範囲ぐらいじゃな。日本では、災害や防災を考えるときに、近くの人同士協力できる「ちいき」全体で取り組むことが多いんじゃ。

じゃあ、僕が自転車で遊びに行ける範囲ぐらいかな。

避難訓練は、災害が起きたときにすみやかに安全な場所に移動する練習で、保育園、小学校、中学校で何度もやってきたよ。自然に身についてたって感じ。

学校の宿題で、地震が起きたときに家族でどこに避難するか決めたり、家の中で地震に備えて何ができるか話し合うっていうのがあったけど、お父さんとお母さんに説明するのが大変だったよ。

僕のお父さんも地震のこととか知らなくて、話したらすごく怖がって、まずは家族全員分のヘルメットを買いに行ったよ。

そうか。日本人は小さいときから訓練をしとるが、ナム君のお父さんみたいな外国の人は避難訓練も知らないんだな。地域の防災イベントに誘ってみようかな。

今はテレビやラジオだけじゃなくて、スマホから自動的に災害情報が入ってくるようになったよね。

大雨のときに、スマホのアラート音がなっていることがあるけど、近所の人もいつも通りに過ごしているみたい。どうなったら逃げればいいのか、よく分からないかも…。

まずは、自分の地域の名前を覚えないとね。その地域に「避難指示」が出ていたら、避難場所に逃げるんだよ。家にいるときは、親が判断して避難しないといけないから、分からないときは私や近所の人に聞いてね。

自然災害と国土の自然条件

自然災害は、国土の自然条件などと関連して発生していることを学びます。
日本の地形を知り、火山の近くや川の近くなど、それぞれの地形に合わせた人々のくらしの工夫や災害への備えなどを学びます。

沖縄は暖かい、北海道は雪のイメージ。私は、いつかきれいな雪景色の中で暮らしてみたい。

でも、社会科の授業で、雪の中で生活するのは大変だって勉強したよ。寒そうだったし、雪道での車の運転も危ないし、積もった雪をどかさないといけないし…。

雪の中での生活に慣れている人もいるけど、沖縄に住んでいた人が、急に北海道で生活しようとすると大変そうだね。

去年の冬に、大雪が降ったことがあったよね。子どもたちは大喜びだったけど、雪に慣れていない大人は本当に大変だったんだから。

経験したことのある自然災害には備えられるが、経験したことのない自然災害が起きたときには被害が大きくなるんじゃな。自分の地域のことだけじゃなく、いろんな地域の災害や工夫を知ることも大切なんじゃ。

災害・防災
こんな話も…

「地震　雷　火事　おやじ」という言葉を知っていますか？

日本で昔から言い伝えられている「この世で怖いもの」トップ４です。でも、時代によって、年代によって、地域によって、国によって、「この世で怖いもの」トップ４は変わってくるはずです。ちなみに、「おやじ」というのは父親のことです。日本の昔のおやじ（父親）はとても怖い存在だった、あるいは怖い存在であるべきだったと考えられていたのかもしません。災害と同じレベルで怖がられていたなんて、今ではあまり想像できないですね。
みなさんの「この世で怖いもの」トップ４は何ですか？

さて、日本では「地震」が怖いというのは共通しており、昔から地震に備えた避難訓練は保育園、教育現場、地域、公共施設などあらゆる場所で行われています。場所や人を選ばず、いつでも、どこでも、誰にでも地震への備えが必要だということです。
この地震に備えた避難訓練、実は昔と今で訓練の方法が少しずつ変化しています。
昔、学校の校舎が木で造られていた時代には、地震で校舎が崩れ落ちてくる危険性があるため、一刻も早く校舎の外に避難しなければいけませんでした。
そのため、避難訓練では校内に訓練開始の放送が流れた瞬間から子どもたちは素早く廊下に並んで、素早く外に避難していました。もちろん素早くといっても走ってはいけません。安全第一です。そして学校の先生はストップウォッチをもって校庭で待ち構え、「全員が避難するのに何秒かかったか」というのを計測していました。1秒でも早く安全に避難することが一つの目標だったようです。
今では、日本の多くの建物が地震に強くなり、簡単に崩れ落ちてしまうこともほとんどなくなりました。校舎内と外の安全を確認してから、より安全な場所を判断して素早く避難するということが求められています。

また、日本の小学校や中学校で行われている地震や火事に備えた避難訓練は、とても日本の国民性に合った訓練方法のように感じられます。日本では保育園や幼稚園の頃から集団行動というものが身についているため、集団行動の経験を存分に生かした訓練方法となっているのです。
海外ではどうでしょうか。日本とは違って早くから教科担任制を取り入れ、教科担当の先生がいる教室に子どもが移動して授業を受けるような国では、授業ごとに先生も教室も異なります。教室の場所によって避難経路も異なりますよね。一緒に避難するメンバーも異なります。パターン化が難しく、臨機応変な対応が求められることになると思います。
そして、ここ数年、備えが必要な自然災害の種類も増えてきました。地球温暖化など環境問題が原因となり、日本でも「ゲリラ豪雨」や「竜巻」「高温」など様々な災害に備えなければならなくなりました。
一方で、こうした自然災害に備えた避難訓練を行わない国も多くあるようです。もちろん災害が

ないわけではありませんが、そういった国では災害とどのように向き合っているのか調べてみると、きっと災害・防災に対する意識の違いもみえてくると思います。

（海外の災害の写真の例）

料理持ち寄りのホームパーティーで
わ〜!すごいゴチソウ!
全部
食べ切れる
かな〜?
楽しそう
残ったら分けて
持ち帰るから
大丈夫よ!
いただきま〜す!
日本では、
「出されたものは残さず
キレイに食べる」のが
いいことなのよね?
うんうん
学校の給食はね、盛り付けるときに
自分が食べられそうな量をよそって
お皿のものは、なるべく残さないように
食べるんだよ
もっと
僕はおかわり
しちゃうけどね〜!
ワハハ
お鍋も空っぽに
した〜い!
私が通っていた
ブラジルの学校では
残してもよかったよ
無理に
食べるのも
ね〜…
お母さんが小さい頃は
家でも学校でも「残しちゃいけない」
とか「感謝して食べなさい」って
言われてたわよ
ごちそう
さま
もったいない!
農家の人に
失礼でしょ!
わしが子どものころは、
米粒一つでも残したら
叱られたぞ
ごちそう
さま
こら!
目が
潰れるよ!

目が
潰れる～?!
コワ!!
それだけ
食料が貴重だったんだよ
ホントは
潰れないよ
…
逆に「出された食べ物は
少し残すのがマナー」って
いう文化もありますよね～
え～わざと?
フィリピンでも一部にそんな文化があります
少し残すことで「食べ切れないほど沢山の
ご馳走を用意してくれてありがとう」と
ホストに感謝を表すんです
満腹!
私のために…
感謝!
よかった!
十分満足して
もらえたようだ
へ～!
そんな
文化も
あるん
だなぁ
日本では残したら
もったいないし失礼って
思うけど、国によって
感謝の表し方も違うのね
感謝?
「た・べ・る」に良い、悪いが
あるようだ
そろそろデザートの時間かな?
やった～!!
あ、これ
おいしそう
いただきます!
え?お豆が甘い!
「ぜんざい」だよ!
昔からの日本のデザート
私のおばあちゃんが
よく作ってくれてね
ブラジルでは
甘い豆は食べないからびっくり!
でも
美味しい!

ねえ、これは何？
お米が入っているようだけど…
それは、ライスプディングといいます
お米を牛乳と砂糖で煮たものです
フィリピンではよく食べていました
牛乳
さとう
こめ
ブラジルにもあるよ
Arroz doce（アホースドーセ）
というの
なつかしい！
ベトナムにはもち米のデザートが
ありますよ
ヨーグルトともち米を使ってます
牛乳や
ヨーグルトと
お米かぁ…
違和感あるわ
わしは、これはいけるなぁ〜おいしいぞ
甘い米は好きだ！
おはぎとかな！
おはぎ?!
もち米の
おにぎりみたいなモノを
甘いあんこで
包むんだ
もち米
あんこ
文化によって
「おいしい」って違って
面白いですね！
人によっても
（おいしいは）違うな！
残すとか
残さないとか
おいしいとか
おいしくないとか
地球人にとって
「た・べ・も・の」は
よほど重要なこと
らしい
ぼくは、ぜ〜んぶ
食べてみたいけどね！

学校で勉強する「食料」

- 食料生産について：生産物・生産地・生産量
- これからの食料生産と食生活

食料生産について：生産物・生産地・生産量

日本の学校では、普段食べているものがどこでどのようにつくられ、私たちのもとに運ばれてきているのかを調べます。そして主な農作物、畜産物、水産物の生産額の割合や変化、産地ごとの生産額や生産量を知り、日本の食料生産の特徴を学びます。

また、米づくりや水産業を例に、食料生産が自然条件を生かして行われていることを学んだり、農業や水産業に関わる人々の努力や工夫、課題について学習したりします。

給食も、地域によって使われている食材とか、こんだてとか違うんだって。社会の時間に写真を見たよ。

へぇ、同じ日本でも地域によって給食が違うんだね。給食からも食料のことが学べるのかあ。

昨日、給食でロシア料理が出たよ。ボルシチとピロシキ。

私が子どものころはそんなおしゃれな給食出たことなかったよ。いろいろな国の料理が給食で楽しめるなんて、いいわね。

学校で、バケツで稲を育てて、そのお米食べたよ！おいしかった！！

育てるのは大変だっただろう？食料を苦労して作ってくれていると思うと、より一層感謝の気持ちが沸くなあ。

これからの食料生産と食生活

わたしたちの食生活の変化とそれによって影響があることとして、輸入食料品の増加や、日本の食料自給率が外国と比べて低いこと、そして食品ロスの問題について学びます。

また、食の安全、安心の確保や、環境への配慮、食料を安定して確保するためにどうすればいいのかも学び、これからの食料生産のために行われている取り組みについて調べたり考えたりします。

わしが子どものころは、牛肉なんてほとんど食べなかったし、パンよりごはん、肉より魚をもっと食べていたなあ。

輸入品ってふつうは高いけど、日本では輸入肉は国産より安いよね。フルーツもものすごく高い！国ではもっとたくさんフルーツを食べていたのになあ。

日本は食料自給率が低いから、もし輸入できなくなったら、好きなものが食べられなくなるよね…。

最近、「地産地消」ってよく聞くでしょ？私はスーパーの地産品コーナーで野菜を買うようにしてるの。名前や生産者の写真が貼ってあるものもあって、安心して食べられるし。

「地産地消」って地域でとれたものを食べるってことだから、食べ物も遠くに運ばなくてもよくて環境にもやさしいし、地域の農業のためにもなるって習ったよ。

日本は売れ残りや食べ残しの食品ロスが多いと聞きました。「もったいない」って日本のことばにはあるけれど、私の国のことばにはありません。食品ロスは本当に「もったいない」ですよね。

アンさん、早速「もったいない」を使ってるね！私も日本に来てから「もったいない」を使うようになったよ。

食料
こんな話も…

日本の学校給食

●**歴史**

日本の学校給食のはじまりは、1889年にまでさかのぼります。東北地方の私立小学校で、貧しくて食べるものがない子どもたちのために無料で給食が出されたのがはじまりだと言われています。その後、各地で貧困児童救済や児童の栄養改善のための方法として学校給食が取り入れられるようになりました。戦時中は中止されることもありましたが、戦後、1947年には、全国都市部の児童約290万人に対し学校給食が提供されるようになりました。当時はパンや脱脂粉乳が給食に出されていました。そして、1976年から米飯が正式に導入されました。

日本の学校給食は教育の一環として実施されています。近年では「食育」と言って、「食」に関する指導が行われています。

また給食当番というものがあり、子どもたちは順番に給食の準備を自分たちで行っています。

写真提供元：独立行政法人日本スポーツ振興センター

●**「食育」って何？**

学校においては、子どもたちが食に関する正しい知識を習得し、自ら判断する力を身に付け、望ましい食習慣を身につけるように指導を行っています。

食育としてよく取り組まれているのが、学校給食に地場産物や国産食材を使用することです。そうすることで、子どもに地域や国の産業や文化への関心を持たせたり、生産者等への感謝の気持ちを育んだりしています。

●**地域による違い①：献立**

食育の一環で、給食に地場産物が使われたり、郷土料理が出てきたりと、地域によって献立が異なります。最近では、海外の姉妹都市の料理や、地域に住む外国人住民の出身国の料理を取り入れた、国際色豊かな給食も出されています。右の写真は兵庫県尼崎市の給食です。地場産物の桃を使ったジャムや、コシーニャというブラジル料理が出されています。

写真提供元：兵庫県尼崎市教育委員会

●**地域による違い②：給食実施率**

「平成30年度　学校給食実施状況調査」によると、日本では、全国の小学校の99.1%、中学校の89.9%で学校給食が実施されています。ほとんどの小学校では給食が実施されていますが、中学校では地域によって給食実施状況が異なっています。例えば、青森県や千葉県、福井県は100%の実施状況ですが、神奈川県は63.7%、滋賀県は70.4%、京都府は76.1%の実施率となっています。

世界の学校給食

国によって「給食」はさまざまです。給食があるところもないところもあります。

例えば、フランスでは、給食のメニューがコース料理のように前菜・主菜・副菜・デザート・パンの構成になっていて、トレーにすべて乗っていてもコース料理と同じ順で食べるそうです。

アメリカの給食は選択制で、給食でもお弁当を持ってきてもいいです。給食のメニューはメイン料理、野菜、果物、牛乳が用意されていますが、こちらも選択ができ、例えばメイン料理のナゲットやピザ、ハンバーガー等、2～3種類の中から好きなものを1つ選ぶ方式だそうです。牛乳の種類を選べる学校もあるそうです。

また、フランスやアメリカの学校では、日本のように教室で食べるのではなく、食堂に行って食べることが多いそうです。

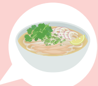
他にも、ブラジルは学校にもよりますが、午前と午後の2部制のため給食がない学校も多いそうです。しかし、学校内の売店で軽食が売られていて、授業前や休み時間に食べることができるそうです。

世界の主食

主食とは、日常の食事の中心になる食べ物のことです。国によって主食は異なり、米やパン、麺等があります。日本はお米が主食ですが、他の国では…？

米

日本をはじめ、アジアで多く主食とされていますが、マダガスカルやブラジルなど南米でも主食として食べられています。



ベトナムでは米麺もよく食べるよ。

マダガスカルは日本よりもお米を消費しているよ。

小　麦

パン、パスタ、ナンなどが欧米、オセアニア、北アフリカ、アジアで主食として食べられています。

中国では小麦でできた「マントウ」も食べるよ。

トウモロコシ

北米や中米、アフリカの東部や南部では、トウモロコシが主食です。メキシコのトルティーヤのように粉にして水でこねて焼いたり、お粥のようにしたりして食べます。

ルーマニアはパンも食べるけれど「ポレンタ」もあるよ。

ジャガイモ

フィンランドやオランダなどのヨーロッパや、ペルーなど南米で主食として食べられています。

イギリスでは「フィッシュアンドチップス」がよく食べられるね！

その他

アフリカの西部や中部、南米では、キャッサバやヤムイモなどのイモ類、バナナなどを主食としている地域もあります。大豆やサツマイモを主食とするところもあります。

タピオカは、キャッサバというイモからできているんだよ！

同じ国でも地域によって主食が異なることもあるよ。

QUIZ

21ページの

答え

これは**ごみ置き**です。地上にかごが作られているから野良犬や猫がごみを荒らすのを防ぐことができるそうです。そして、ごみは夜に集められることが多いそうです。下にある袋は、牛乳パックや空き缶が入っています。ブラジルでもリサイクルが進められているようですね。

参考文献・URL

●『小学校　学習指導要領（平成29年告示）』文部科学省

●『新編　新しい社会 3・4 年上』（2015）東京書籍

●『新編　新しい社会 3・4 年下』（2015）東京書籍

●『新しい社会 3』（2020）東京書籍

●『新しい社会 4』（2021）東京書籍

●『新しい社会 5 上』（2020）東京書籍

●『新しい社会 5 下』（2020）東京書籍

●『ちりゅう』（2020）知立市社会科副読本編集委員会編 知立教育委員会発行

●総務省　多文化共生の推進に関する研究会　報告書
https://www.soumu.go.jp/main_content/000706219.pdf

●全国学校給食会連合会
https://www.zenkyuren.jp/lunch/

●文部科学省
https://www.mext.go.jp/a_menu/sports/syokuiku/1299359.htm?fbclid=IwAR1_dTmOYX0ydco_75Vb8-6fuS1g1fBnVkBIUsvphvBefJVa7gOJbc6Hkto

●「平成30年度　学校給食実施状況調査」都道府県別学校給食実施状況（公立中学校数）
平成30年5月1日現在（文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課）
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa05/kyuushoku/kekka/k_detail/1413836.htm

●農林水産省
https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/2006/food02.html

● NHK for School
https://www2.nhk.or.jp/school/movie/outline.cgi?das_id=D0005120452_00000

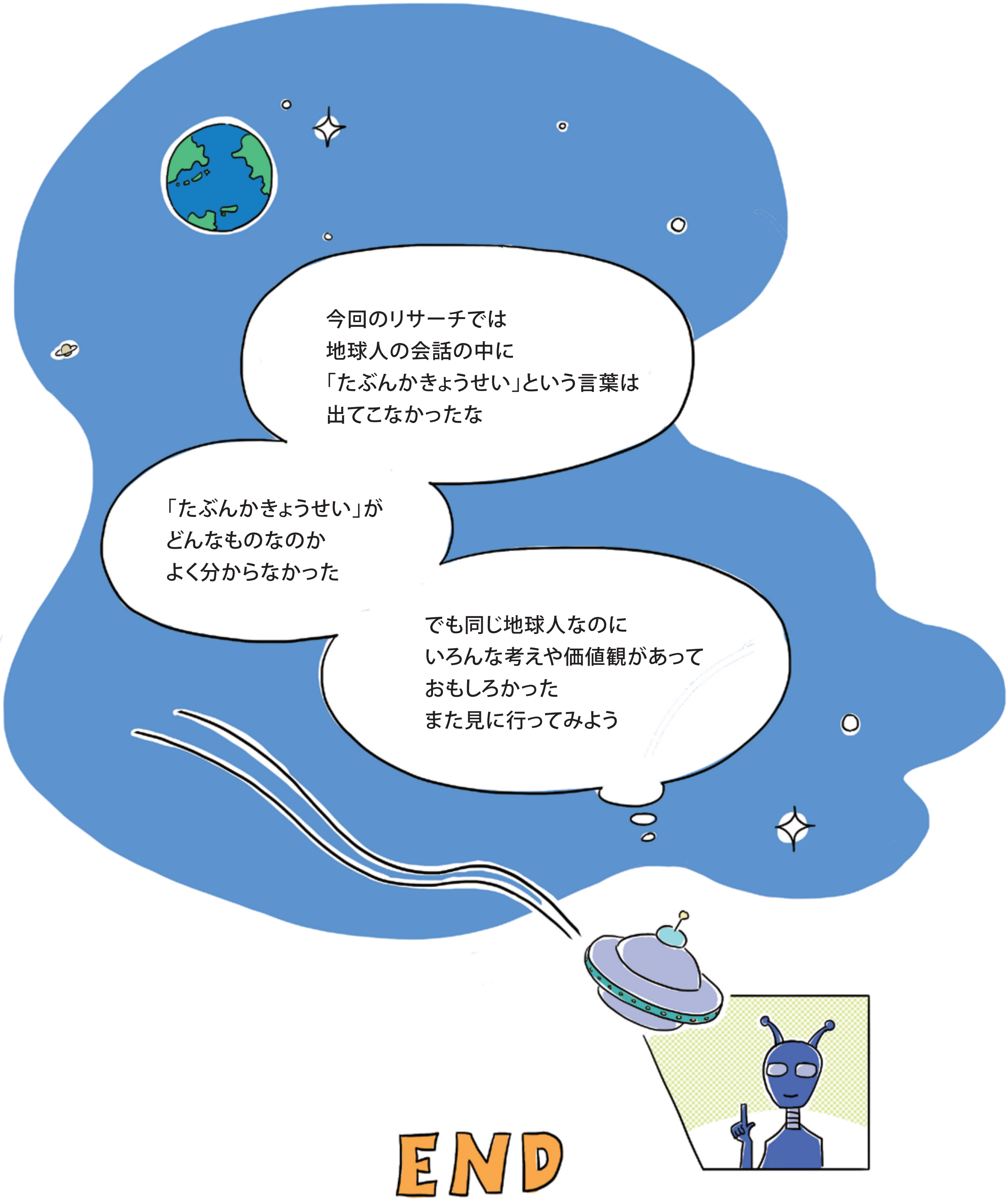
●一般社団法人Jミルク
https://www.j-milk.jp/knowledge/column/hn0mvm0000008msc.html

●ジャパンリロケーション株式会社
https://www.japanrelocation.net/blog/1456/

●東京都教育委員会「世界の「主食」分布MAP」
https://www.o.p.edu.metro.tokyo.jp/children-student/watch-learn/infographics-staplefood

●株式会社明治
https://www.meiji.co.jp/meiji-shokuiku/worldculture/china/

●ナショナル ジオグラフィック
https://natgeo.nikkeibp.co.jp/atcl/web/15/352321/081900012/?P=4


今回のリサーチでは
地球人の会話の中に
「たぶんかきょうせい」という言葉は
出てこなかったな
「たぶんかきょうせい」が
どんなものなのか
よく分からなかった
でも同じ地球人なのに
いろんな考えや価値観があって
おもしろかった
また見に行ってみよう
END

いまさらだけど多文化共生ってなに？

監修	川口 直巳　西山 幸子
執筆 / 編集	川口 直巳　西山 幸子　丸井 合　池谷 日都美
漫画・イラスト	アンドウ カヲリ
発行所	愛知教育大学　外国人児童生徒支援リソースルーム
問い合わせ	愛知教育大学　外国人児童生徒支援リソースルーム 〒 448-8542　愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢 1 TEL : 0566-26-2219　FAX : 0566-26-2566 e-mail : gendaigp@auecc.aichi-edu.ac.jp

　本冊子は、文部科学省の教育政策推進事業委託費による委託業務として、愛知教育大学が実施した令和 3 年度「多文化共生に向けた日本語指導の充実に関する調査研究」の成果物です。

　したがって、本報告書の複製、転載、引用等には文部科学省の承認手続きが必要です。